Tsukuba Vineyard:

本日の発表内容

・簡単なプロフィール
・人生の目標
・何故ワインの世界へ足を踏み入れたのか？
・求める農業のスタイル
・土の構造から見た透水性と保水性の役割は？

高橋　学　　プロフィール

出生地：北海道宗谷郡猿払村（1955年9月30日）

職歴：
・1983年通産省工業技術院地質調査所入所（1882年設立）。
・2001年経産省産業技術総合研究所へと改組、地質総合センターへ。
・専門は岩石や岩盤の室内力学試験を担当。岩石内空隙構造の3次元定量化にマイクロフォーカスX線CTを導入し、空隙の3次元幾何学情報と物性との相関を解明。岩石の室内透水試験による水理定数の定量化・定量手法化開発を行う。
・2016年定年退官
・2015年からつくば市の認定新規就農者として、市内栗原地内にてTsukuba Vineyardとしてワイン用ブドウ栽培を開始。

人生の目標：

・30歳までに博士号の取得（北海道大学）

・60歳まで研究活動を行う（誌上・口頭発表を600件以上）

・90歳まで現役で農場・ワイナリーで働く

・何故ワインの世界へ足を踏み入れたのか？

・定年のない世界、自営業への関心
・曽我貴彦さんとの出会い

・自分で植えたブドウから作ったワインで晩酌をできたらいいな！
・日本酒・焼酎・ウイスキーにないロマンを感じる

・求める農業のスタイル

土壌分析に基づく土の物理性・化学特性の最適化

- 耕作放棄地からのスタート
- 畝間への施肥（完熟牛糞堆肥）と麦蒔き
- 微量元素の投入（牡蠣殻石灰、腐植酸）
- エンドファイト（共生微生物）の積極的利用

《endoはギリシャ語で内側の、phyteは植物の意》植物の体内に共生する真菌や細菌などの微生物の総称。

- 雑草抑制に茅・麦わらの利用・・・堆肥化まで放置
- 排水設備と潅水設備の導入
- 雨よけ設備の導入

耕作放棄地の再生の様子

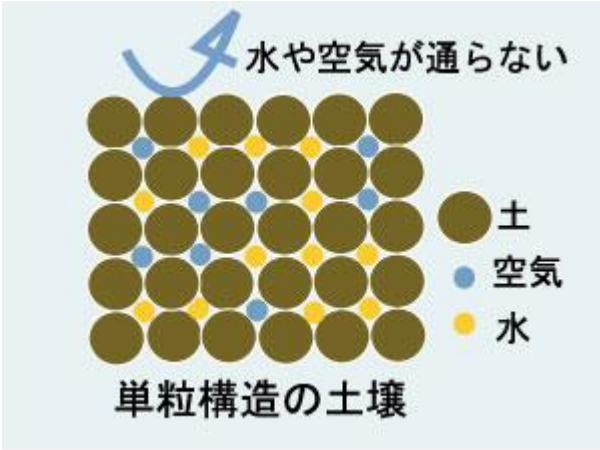
・求める農業のスタイル

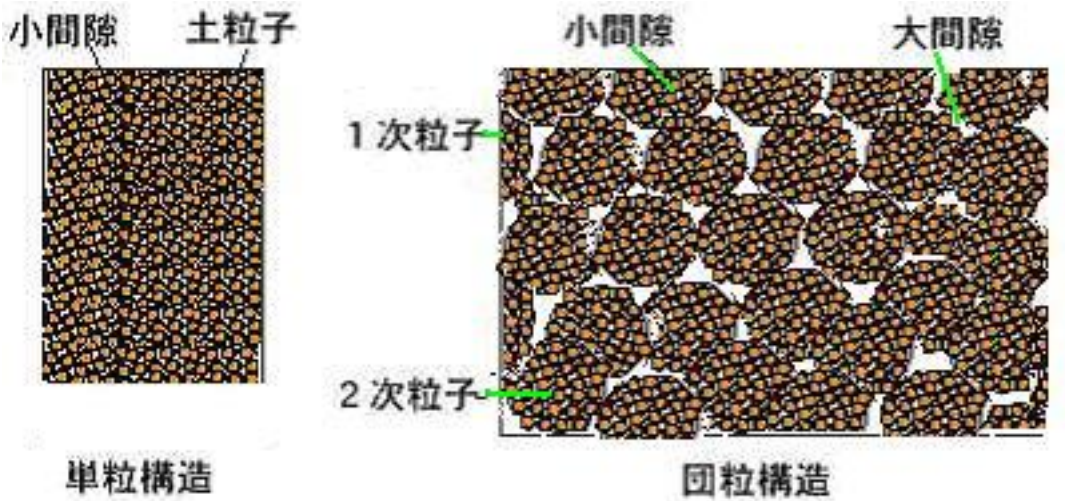
土壌分析に基づく土の物理性・化学特性の最適化

- 耕作放棄地からのスタート
- 畝間への施肥（完熟牛糞堆肥）と麦蒔き
- 微量元素の投入（牡蠣殻石灰、腐植酸肥料）
- エンドファイト（共生微生物）の積極的利用

《endoはギリシャ語で内側の、phyteは植物の意》植物の体内に共生する真菌や細菌などの微生物の総称。

- 樹間の雑草抑制に茅・麦わらの利用・・・堆肥化まで放置
- 排水と潅水設備の導入
- 雨よけ設備の導入



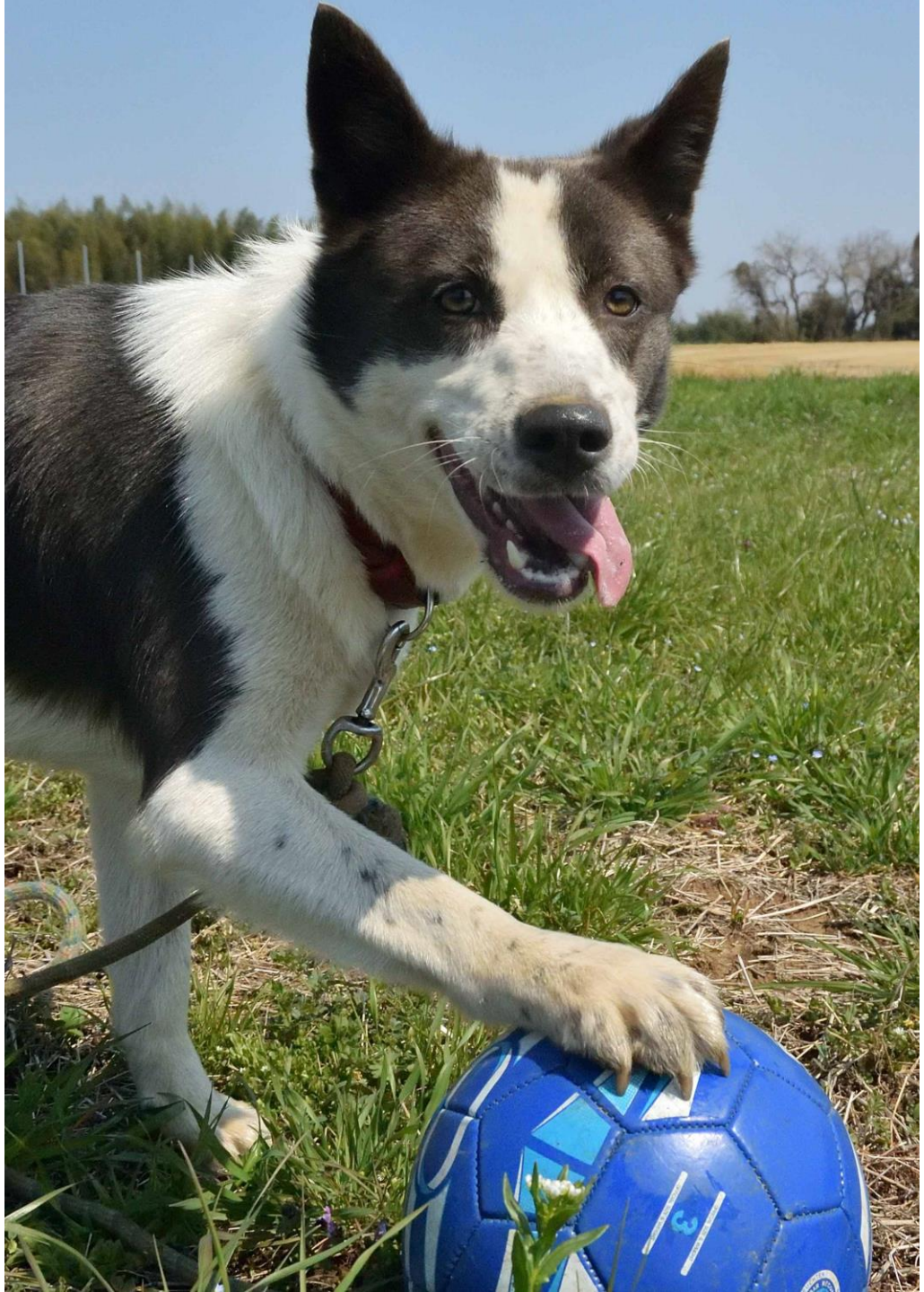


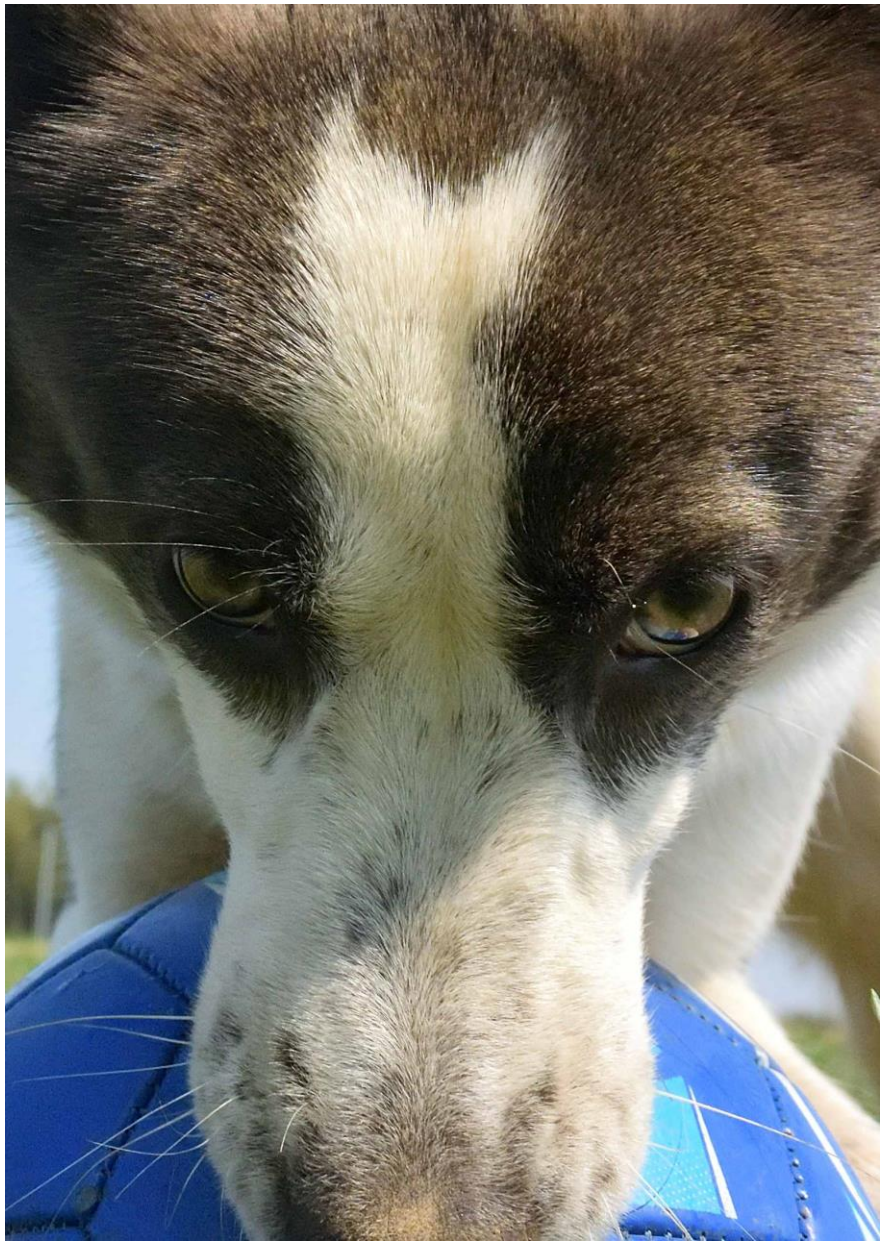
透水係数：水の通りやすさの指標
比貯留率：土や岩石が圧力や変形により水を貯める能力もしくは吐き出す能力

特集

土の性質がわかる 全国デジタル土壌図

この地図は、農研機構がウェブで公開する「全国デジタル土壌図」。色や柄の違いは、土壌が違うことを示しています。この土壌図ができた経緯や活用法を紹介します。





Tsukuba Vineyard

http://tsukuba-vineyard.sakura.ne.jp/blog/

・並木夏祭り実行委員会
http://tkb.on.coocan.jp/namikimatsuri/toppage.html

・アダプト・ア・パーク　並木近隣公園友の会
https://www.facebook.com/adoptaparknamiki